

横浜の緑に関する市民意識調査及び 土地所有者意識調査の結果について

横浜市では、緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するため、財源の一部に「横浜みどり税」を活用した「横浜みどりアップ計画」により、樹林地や農地の保全、まちなかの緑化などに取り組んでいます。

取組の成果を検証しながら、今後の緑に関する施策を検討する際の基礎資料とするため、横浜の「緑や花」に関する意識や樹林地・農地を所有・維持するうえでの課題等を伺う調査を行いました。

この度、調査結果がまとまりましたので、お知らせします。今後、分析を行い、具体的な施策の検討に活用していきます。

横浜の緑に関する市民意識調査

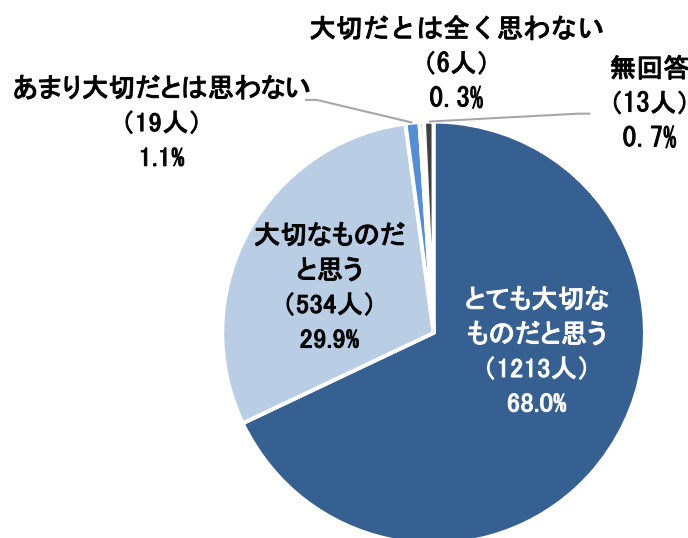
1 調査概要

- 調査対象 市民 5,000 人（住民基本台帳の満 18 歳以上の市民から無作為抽出）
- 実施期間 令和4年6月13日（月）から28日（火）まで
- 調査項目 森や農地、まちなかの緑など、横浜の「緑や花」の大切さ、どのような緑があると良いか、緑との関わり方等
- 回収数 1,785 票（回収率 35.7%）

2 回答結果の一例

問

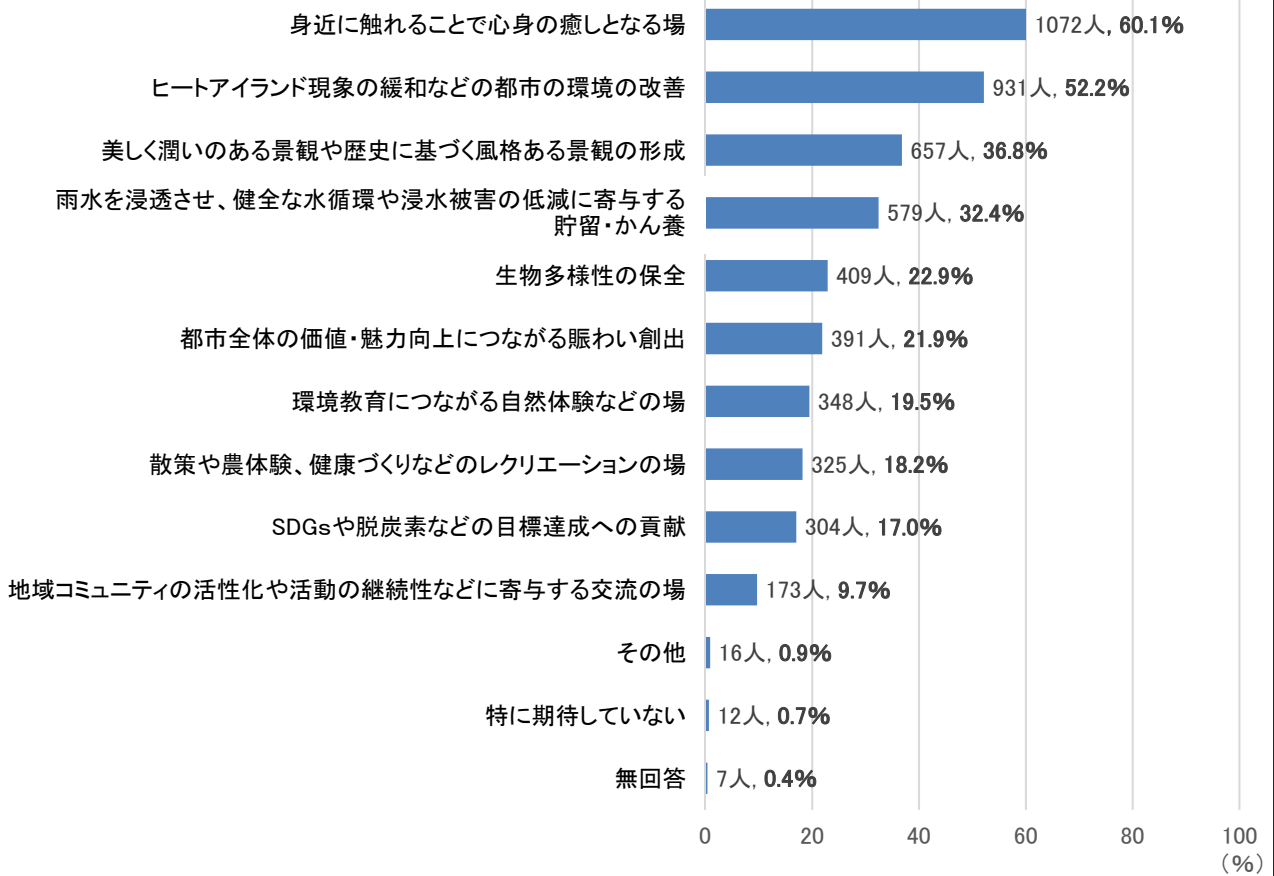
森や農地、公園や街路樹、花壇など、横浜の「緑や花」の大切さについて、どのようにお考えですか。



「とても大切なものだと思う」が約68%で最も多くなっており、「大切なものだと思う」と合わせると、約98%が横浜の「緑や花」を大切だと回答しています。

問

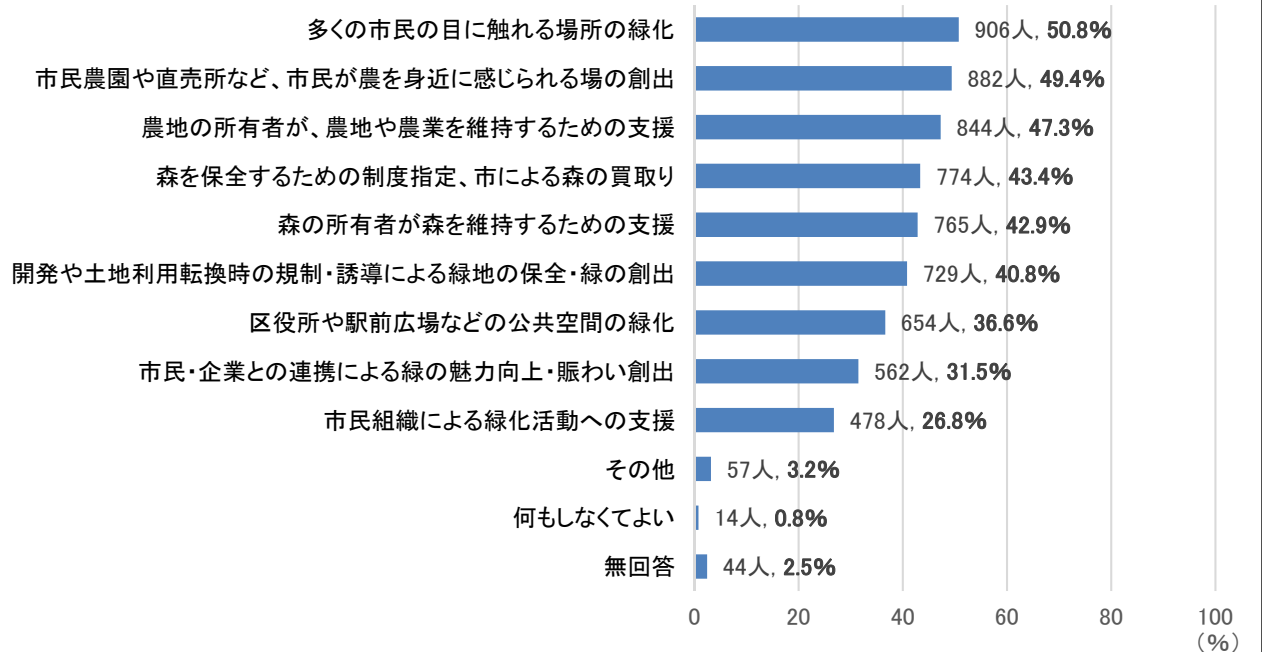
暮らしのなかで、緑や花にどのような役割・効果を期待していますか。
(3つまで回答可)



「身近に触れることで心身の癒しとなる場」が最も多い回答（約60%）でした。

問

横浜市は緑や花に関わる取組として、何をすべきだと思いますか。
(複数回答可)



「多くの市民の目に触れる場所の緑化」が最も多い回答（約51%）でした。

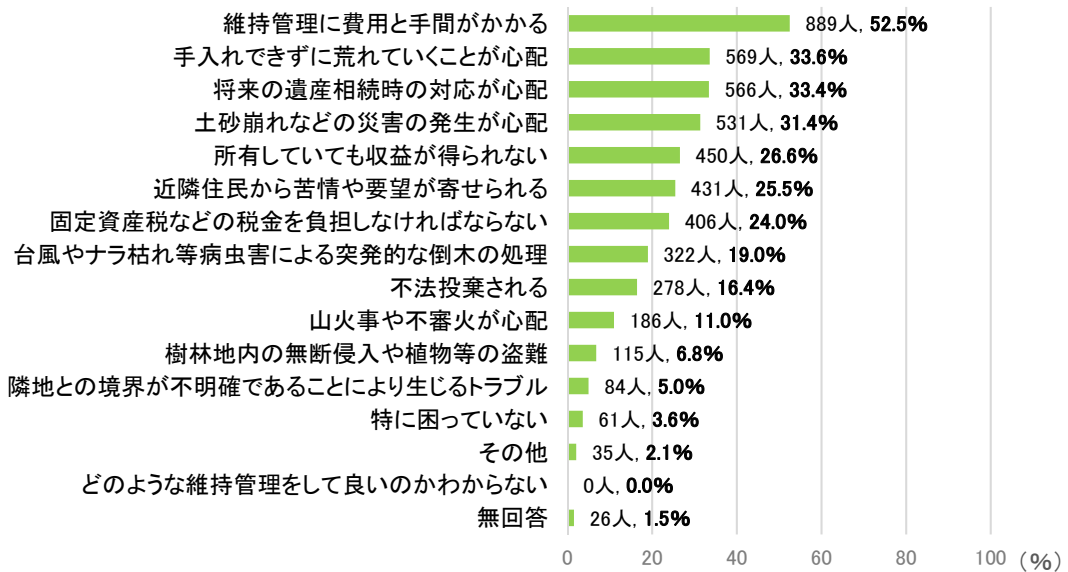
横浜の緑に関する土地所有者意識調査

1 調査概要

- (1) 調査対象 樹林地：4,407人（一筆500㎡以上の山林所有者）
農地：5,631人（1,000㎡以上の農地所有者）
- (2) 実施期間 令和4年6月13日（月）から28日（火）まで
- (3) 調査項目 樹林地：樹林地を守るための課題等
農地：農地を守るための課題等
- (4) 回収数 樹林地：1,693票（回収率38.4%）
農地：2,352票（回収率41.7%）

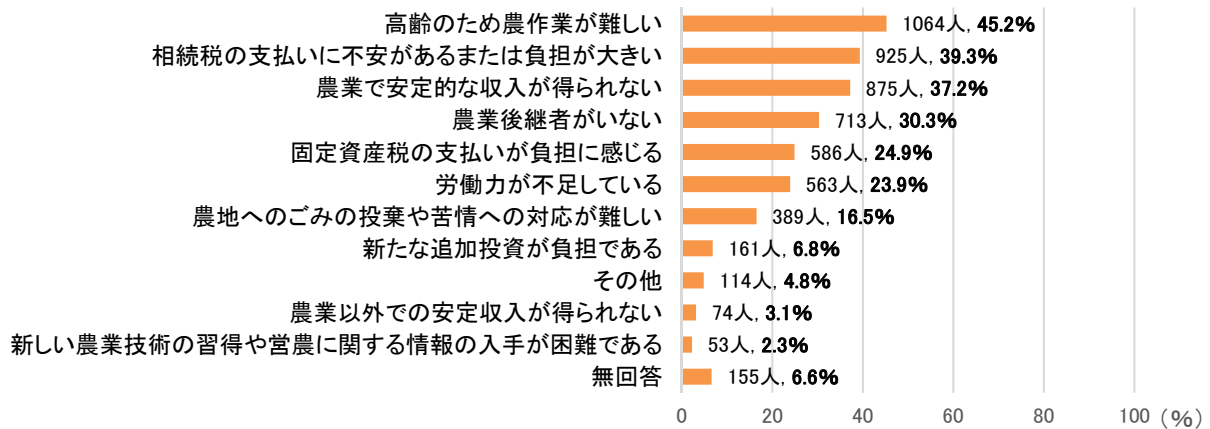
2 回答結果の一例

樹林地	問	樹林地を所有するうえで困っていると感じていることについて教えてください。（3つまで回答可）
-----	---	---



「維持管理に費用と手間がかかる」が最も多い回答（約53%）でした。

農地	問	農地を所有し耕作を続ける上で、あなたが特に課題と思うことは何ですか。（3つまで回答可）
----	---	---



「高齢のため農作業が難しい」が最も多い回答（約45%）でした。

※上記は回答結果の一例です。設問項目及び回答結果については、環境創造局のホームページ（<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/midori-koen/chosa/midorichousa.html>）に掲載しています。

横浜の緑に関する意識調査 で検索

お問い合わせ先

環境創造局政策課 みどり政策調整担当課長 岩間 隆男 Tel 045-671-2473